



島田 浩 議員

愛西市の駅前開発は

質問

佐織地区の名鉄藤浪駅は完了し、勝幡駅の用地買収も終わり、これから工事に入っていくが、次はこの駅をどの時期に計画しているか。

経済建設部長

JR永和駅前の整備については、平成20年4月より津島市、蟹江町、当市で、「永和駅周辺整備に係る勉強会」を立ち上げ、現状の課題や状況の共有だけでなく、今後の整備計画までまとめる目的で取り組んできた。しかし、津島市より、「北側の整備は今後

の土地利用状況により考えたい。現段階では考えていない」と言われ、勉強会は中止になっている。

今後、津島市とも協議をしながら、北側の津島市の整備に合わせて、進めていきたい。

質問

名鉄佐屋駅は、立田地区、多度方面からの乗降客に加え、最近数多くの熟年層のハイキング客、トレッキング客が木曽三川公園の窓口として、利用されている。来年度、観光協会の設立の動きもあると聞いているが、ステーションビルとまで言わないが、名鉄と協議し、駅構内にロータリーを設け、現在、県道で乗り降りしている巡回バスの乗降がスムーズに出来るよう、また駅に通勤通学のため迎えに来る客に対して、用地買収も必要になってくるかと思うが、駅構内を有効に利用した駅前開発構想を持っているか。

経済建設部長

構内の利用について、どこまで協力いただけるか、名鉄のほうに確認していきたい。駅前開発構想の計画は現在のところ持っていない。

住宅地周辺の枯れ草対策を

質問

市内を見回すと、空き地などが荒れ、草が繁茂しても、草刈りが行われず、枯れ草になり、火災発生の原因となる箇所が多く見受けられる。

住宅地周辺の枯れ草に対して、どのような対策を考え指導しているか。

消防長

11月上旬に調査をし、愛西市及び近隣市町村の所有者へは電話による口頭指導で、市

外の遠方の方へは、はがきによる指導を行っている。また、12月の再調査で未実施の所有者に対し、再度指導を行っている。

質問

所有者が市外などの場合、所有者に枯れ草を除去してくれる業者の情報を周知すると、除去率があがると思うが。

消防長

遠方の所有者の中には直接の除去は困難な方も見え、除去依頼の送付はがきには、市内の業者情報も印刷して所有者への除去を促している。再指導時には、枯れ草から建物火災へ移った事例も記載し、危険性を訴えた文書も送付しており、除去率アップに努めている。



住宅地周辺の枯れ草